

原子炉利用研究者グループ幹事会 議事録

日時：2024年1月11日(木) 13:30～14:05

場所：Zoomによるオンラインミーティング

出席者（順不同、敬称略）

所外：井川 和代（岡山大学）、吉橋 幸子（名古屋大学）、宮武 伸一（大阪医科薬科大学）、川端 信司（大阪医科薬科大学）、三浦 勉（産業技術総合研究所）、大場 洋次郎（豊橋技術科学大学）、益谷 美都子（長崎大学）

所内：櫻井 良憲、鈴木 実、高宮 幸一、日野 正裕、近藤 夏子、高田 卓志、山村 朝雄、木野村 淳、（事務局）新野 尚子、山下 加恵、中山 千代子

添付資料：

資料1：前回幹事会議事録（R5.7.19開催）

資料2：令和5年度決算報告書

資料3：令和6年予算(案)

資料4：令和6年度活動予定表（案）

議題：

1. 前回幹事会議事録の確認
2. 令和5年度事業報告・会計報告
3. 令和6年度予算案
4. 令和6年度活動予定
5. 名誉会員の推薦について
6. ホットラボの各部屋・スペース利用について
7. その他

開会の挨拶の後、井川代表幹事が司会進行を務め、以下の通り幹事会が実施された。

1. 前回幹事会議事録の確認（櫻井幹事）

資料1に基づき説明があった。幹事からの意見はなかった。幹事会終了後に意見がある場合は櫻井総務幹事まで連絡すること、週末までに特に意見が無い場合は議事録を確定する旨の説明があった。

2. 令和5年度事業報告・会計報告（櫻井幹事、鈴木幹事、吉橋幹事）

櫻井幹事より、令和5年度の事業報告として、ホットラボの各部屋・スペース利用の検討状況、および研究会等運営金の補助事業、共同利用支援のための物品購入の検討状況について報告がなされた。共同利用支援のための物品購入について、令和5年度は購入を見送り、今後の各部屋の整備状況に応じて検討を進めるとの説明があった。

続けて、鈴木幹事より、資料2に基づき令和5年度の会計報告があった。収入合計701,899円に対し、支出合計701,899円であり、内訳として研究会等運営費（5件）計15000円の支出があり、残金686,899円が次年度に繰り越される旨の説明があった。

続けて、吉橋幹事より会計監査結果について報告があり、適切な処理がなされていた旨の説明があった。

これらについて、幹事からの意見なく、承認された。

3. 令和6年度予算案（櫻井幹事、鈴木幹事）

櫻井幹事より、令和6年度事業計画として、共同利用支援のための物品購入の検討、および研究会等運営金の補助、ホットラボのスペース有効活用の検討を継続して実施する計画であるとの説明があった。

続けて、鈴木幹事より、資料3に基づき令和6年度予算案について説明があった。収入として前年度繰越金である686,899円を、支出として研究会等運営費（12件分）計36,000円および共同利用支援のための物品購入費500,000円を計上しているとの説明があった。幹事から意見なく、承認された。

4. 令和6年度活動予定（櫻井幹事）

資料4に基づき説明がなされた。運営委員会委員・共同利用研究委員会委員の推薦者選出選挙、および利用者グループ幹事選出選挙が予定されている旨の説明があった。また、総会の実施について、例年のとおり、2月2日に開催される将来短期研究会に合わせてオンラインにて開催予定であるが、改めて日程を確認するとの説明があった。幹事から意見なく、承認された。

5. 名誉会員の推薦について（櫻井幹事）

名誉会員の推薦および承認の手続きについて説明があった後、複合研所内では森本幸生教授が推薦対象であるとの説明があった。所外の推薦候補者の提案はなされなかったが、対象者がいる場合は事務局に連絡するよう依頼があった。幹事から意見なく、承認された。

6. ホットラボの各部屋・スペース利用について（櫻井幹事、高宮幹事）

櫻井幹事から9月に実施されたアンケート結果について報告があった。多数のご意見があり、共同利用掛がまとめた資料を基に下記内容について説明がなされた。ご意見を参考にして、利用者グループの予算で購入が可能なものについては購入の検討を進めるとのことであった。

- ・元技術室を中心としてスペース活用の意見を伺った。
- ・32人から回答があった。
- ・1～2人および5～6人で使用できる作業スペースの要望が多かった。
- ・仮眠スペースの整備について半数程度から要望があった。
- ・キャリーケース等を保管できるロッカーもしくはスペースの要望があった。

続いて、高宮幹事から、元技術室の利用案についてレイアウト図面を基に以下の説明がなされた。

- ・ホットラボ廊下側の一部扉の閉鎖
- ・荷物置場の整備
 - ロッカーを追加購入し、数種のサイズのものを設置
 - 施錠可能なスーツケース固定場の確保
 - 実験用具専用の仮置場の確保
- ・自由配置可能な打合せ用テーブルおよび実験準備にも使用できる幅広テーブルの設置
- ・PC作業等のためのスペースの配置
- ・パーティションで区切られた個別スペース（4人分）の設置

櫻井幹事より、昨日から床面の清掃が始まっていること、フレキシブルな配置が考慮されていること、その他必要な物品があれば利用者グループあるいは研究所の予算で可能な

範囲で対応する旨の補足説明があった。

鈴木幹事より、第1研究棟に共同利用者が仮眠等に利用できる休養室が整備される予定であること、複合研所員用の女性用休養室を女性の共同利用者が利用できるように調整している旨の補足説明があった。

木野村幹事より、PC作業用にテーブルタップや無線ネットワークの利用環境が整備されていることが望ましいとのコメントがあった。ネットワーク接続について、従来から **Eduroam** アカウントや共同利用者用アカウントが使用されているが、いずれも事前申請が必要であるため、セキュリティー面の考慮が必要であるがより使いやすい環境があればよいとのご意見であった。これに対し、櫻井幹事より、第1研究棟の利用も含めて今後の幹事会等でご意見を伺っていきたいとの回答がなされた。

最後に、井川代表幹事より、要望等があれば随時連絡をするようにとの依頼があった。

7. その他

幹事からその他の議題は出されなかった。

井川代表幹事より閉会の挨拶がなされ、閉会した。

以上